

読賣新聞

発行所
読売新聞東京本社
第47222号

〒100-8055
東京都千代田区大手町1-7-1
電話 (03) 3242-1111(代)
http://www.yomiuri.co.jp/

2007年(平成19年) 8月23日 木曜日

ヘルパーが同行し、移動や入浴、トイレなどの介助をするツアー旅行が高齢者に入気だ。体が不自由になると「旅行は無理」とあきらめがちだが、介護のプロと一緒に安心して出かけられる。やや割高だが、旅の楽しさを改めて実感できそうだ。

東京都町田市の松尾繁利さん(83)と妻の良子さん(77)は今春、徳島県内の寺23か所を巡る7日間のツアー「バリアフリー 四国八十八か所霊場巡拝・心の旅」に参加した。60代のころから夫婦で「いつかお遍路を」と夢見てきたが、繁利さんは72歳の時、脳内出血で倒れ、右半身まじに。良子さんも足が悪く、あきらめていた。

しかし、介護付きのツアーがあることを知り、参加を決めた。ツアーは10人定員で、ホームヘルパー2級の資格を持つ「トラベルヘルパー」と添乗員が各1人ついて料金は一人約25万円。

「手を引いてもらったり、時々車いすに乗せてもらったりしながら回りました。お寺を前にすると心が洗われ、本当に来てよかったと涙が出ました」と良子さん。

繁利さんは自分の乗った車

介護付きで ツアー

海外も法事も 「旅の楽しさ再発見」

いすを押してもらったり、每晚の入浴を補助してもらえよう、さらに14万円を払い、専任の介護福祉士を頼んだ。ツアーを企画したのは旅行会社「エスピーアイ あ・えの倶楽部(東京)」。初めての試みで、秋には高知県内での巡拝ツアーも予定している。

このほか、同社ではトルコやイタリヤなどを巡る5商品を販売。また、故郷での法事や墓参りといった個人的な「お出かけにトラベルヘルパー」が

1人が付き添うプランもある。「遠出したくても家族や周囲に遠慮し、あきらめているお年寄りが多い。しかし、こうしたサービスを利用すれば、旅する楽しさを再び味わってもらえるはず」と、同社の伴流高志さんは話す。

旅行会社「クラブツーリズム」(東京)でも、高齢者を対象に、昨年から介護付きツアーを始めた。ホームヘルパー2級以上の資格を持つ「トラベルサポーター」がリ

約20商品ある。介助の必要に応じて、バスツアーなら1日あたり6000〜1万1000円割増になる。「要介護5の人もいます。家に引きこもりがちなのが外に関心を持つきっかけにしたい」と同社は話す。

介護付き旅行の場合、ヘルパーの力量が大きく問われる。そのため、優秀な人材を確保しようと、両社ともにヘルパーの有資格者などを対象に、旅先での介助法や技術などを教える講座を開き、人材育成にも力を入れている。

「旅行好きの団塊の世代らが社会貢献の一環に受講するケースが増えてきた。こうした旅行を広げるためにも、旅を楽しむ人、支援する人を増やしていきたい」と同社の長橋正巳さんは話している。



松尾さん夫妻。「介護お父さん、お陰で一緒に来た」と良子さん(左)と繁利さん(右)は徳島県内の一環に受講するツアーが増えた。こうした旅行を広げるためにも、旅を楽しむ人、支援する人を増やしていきたい」と同社の長橋正巳さんは話している。

フトバスに同乗し、首都圏を巡るバスツアーが主力商品だが、海外や国内ツアーも毎月